

すぎなみPROFILE

杉並区には、約3万年前から人々が住んでいたといわれています。大正12年の関東大震災以降、新たな住居を求めて都市部の人々が移り住み、急速に住宅化が進みました。そして昭和7年10月1日、杉並町、和田堀町、井荻町、高井戸町が合併し、杉並区が誕生したのです。



区名の由来

杉並区の地名の起りは、江戸時代のはじめ、成宗・田端両村の領主であった岡部氏が、領地の境界の印として、青梅街道に沿って杉並木を植えたことに始まります。その後、杉並木はなくなってしまいましたが、「杉並」の名は村名として採用され、町名さらに区名となって現在に至っています。

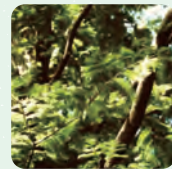


区の木

区内の緑を“守り、ふやし、育てる”ことを目標に「みどりの条例」を制定（昭和48年11月1日施行）し、区の木を「杉」「アケボノスギ」「サザンカ」の3種に決めました。



杉



アケボノスギ



サザンカ

区の紋章

「杉」を幾何学的に図案化したもので、区制施行20周年を記念し、昭和27年に制定しました。
デザイン＝恩地孝四郎画伯



コミュニケーションマーク

新しい時代にふさわしい魅力あるまちを創造していく姿勢を明らかにするために平成4年に制定しました。

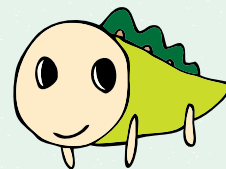


公式アニメキャラクター

平成18年、公募で杉並区の公式アニメキャラクター「なみすけ」が選ばれました。グラフィックデザイナーの五味由梨さんが、「区民に長く愛されるキャラクターになるように」と思いを込めて描いてくださいました。マンホール蓋や小学1年生のランドセルカバーなど、まちのいたるところになみすけが登場しています。

なみすけ

スギナミザウルス島に住んでいた妖精。好きなものはおいしい空気とりんご。さんぽと人間かんさつが趣味。



ナミー



なみすけの妹。頭に花をつけている。お兄ちゃんが大好き。

杉並区歌

作詞／佐藤有弘 補作詞／加藤省吾 作曲／遠藤実 編曲／只野通泰

- | | | |
|--|---|---|
| 1. 杉の木立にひめつばき
光りかがやく文化のまちよ
心ふれあう人がいる
笑顔を見かわす人がいる
手を取りあって和を広げ
共に栄える杉並区 | 2. めぐみゆたかに水清く
夢を浮かべて流れる川よ
心あかるい人がいる
幸せ育てる人がいる
みどりのまちに愛の花
薫るわがまち杉並区 | 3. 遠い歴史をいしずえに
明日にはばたく若さと力
心やさしい人がいる
喜びわけあう人がいる
希望の歌を肩組んで
共にうたおう杉並区 |
|--|---|---|



作曲／遠藤実（名誉区民）



楽譜・音源（歌／橋幸夫）はこちら

宣言

杉並区平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。いま、私たちの手にある平和ゆえの幸せを永遠に希求し、次の世代に伝えよう。ここに杉並区は、核兵器のなくなることを願い、平和都市を宣言する。（昭和63年3月30日制定）

杉並区男女共同参画都市宣言

人は歴史を創り 人は未来を創る 思いやりの心をもとに 男女が 性別を超え 世代を超え 互いに個性や能力を尊重し さまざまな分野に参画し 心豊かな 明日の世代へ夢をつなげ 平等と平和の輪を広げるため 杉並区は ここに「男女共同参画都市」を宣言します（平成9年12月1日制定）



交通安全杉並区宣言

近時、車両運行の急激な増加にともない、区内における交通事情は悪化の一途をたどり、事故は日とともに激増の傾向にあることは、まことに憂慮に堪えないところである。杉並区は人命を尊重し、区民の生命財産をまもり、区内における交通事故の絶滅を期するため、これが施策を推進することを決意し、ここに交通安全都市を宣言する。（昭和40年3月31日制定）

杉並区ゼロカーボンシティ宣言（抜粋）

今、世界では、地球温暖化の影響により、干ばつや豪雨、台風などが強化し、大規模な自然災害が発生しています。もはや「気候変動」ではなく、「気候危機」とも言える事態になっており、これまで以上の取組が求められる喫緊の課題となっています。そこで、杉並区は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに表明し、区民や事業者の皆様とともに脱炭素社会の実現に向けた取組を強力に進めます。温暖化の進行を食い止め、良質な住宅都市として発展してきた杉並区を将来世代に引き継いでいくため、全力で取り組んでいきます。（令和3年11月1日表明）

全文はこちら



データで見るすぎなみ

杉並区をデータで見てみましょう。どんな人がどんなふうに住んでいるのか、数字の中から浮かんできませんか？じっくり読み込んでみると、意外な姿が見えてくるかもしれません。

人口
570,925人
※令和4年4月1日現在

区成立当時（昭和7年）の人口は146,560人、世帯数は31,583世帯でした

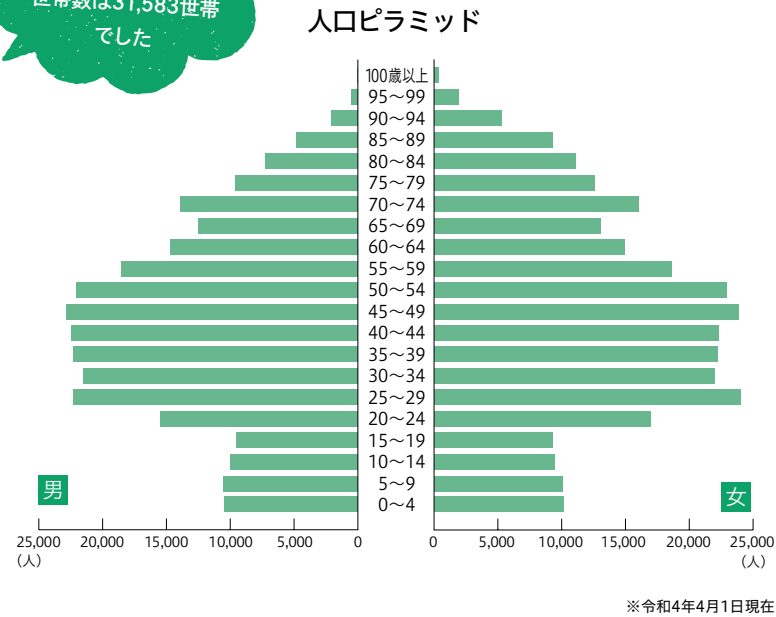
世帯数
325,481世帯
※令和4年4月1日現在

子どもの人口（15歳未満）
60,513人
※令和4年4月1日現在

合計特殊出生率
0.99人
※令和2年現在

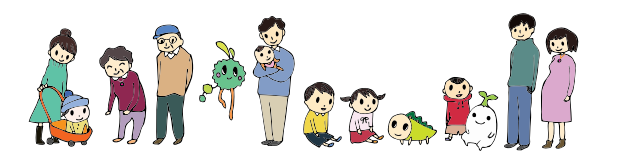
認可保育所定員数
14,747人
※令和4年4月1日現在

5年連続で「待機児童ゼロ」を実現しました



区民の定住意向 **86.9%**
※令和3年杉並区民意向調査

住みよいと思う **96.3%**
※令和3年杉並区民意向調査



外国人人口
15,031人

- 1位 中国 4,805人
 - 2位 韓国 2,277人
 - 3位 ネパール 1,923人
 - 4位 ベトナム 1,214人
 - 5位 台湾 740人
- ※令和4年4月1日現在

樹木本数
35,914本

- 1位 サクラ 5,945本
 - 2位 ケヤキ 5,373本
 - 3位 イチョウ 3,499本
- ※平成29年度杉並区みどりの実態調査

公園数
334カ所
※令和4年4月1日現在

一人1日当たりのごみ
479g/日
※令和2年度

交流自治体

杉並区では、国内10自治体、海外3都市と友好関係にあります。経済・観光・文化・スポーツ・災害支援など、幅広い分野で相互支援をしています。

北海道名寄市

米・もち米のほか、アスパラガスやジャガイモなどの農産物が特産です。夏はひまわり畑が広がり、冬はダイヤモンドダストが見られます。区内の小学生が名寄市を訪れ、豊かな自然を体験する交流事業を実施しています。

福島県北塩原村

夏には登山客、冬にはスキー客が多く訪れます。松原湖、五色沼など豊かな自然に恵まれ、四季を通じて楽しめる日本有数の観光地です。区民が現地での宿泊時などに割引を受けられる「まるごと保養地協定」を結んでいます。

福島県南相馬市

国指定重要無形民俗文化財の相馬野馬追は、一千有余年の歴史を誇る伝統行事です。また、北東海岸は全国有数のサーフスポットとして有名です。東日本大震災の復興支援のため区職員を平成23年から派遣しています。

新潟県小千谷市

浅原神社例大祭（片貝まつり）の花火大会は、世界一大きい四尺玉の花火が上がることで有名です。牛の角突きや錦鯉でも広く知られています。井草にある小千谷学生寮の敷地内で、毎月1回物産展が開催されています。

群馬県東吾妻町

関東の耶馬溪と称される吾妻渓谷をはじめ、日本名水百選の一つ箱根湧水など豊かな自然に恵まれています。区と東吾妻町の小学生が相互に訪れ、生活や文化を体験する交流事業を実施しています。

東京都青梅市

金剛寺、塩船観音寺、御岳神社、吉野梅郷があり、西部は秩父多摩甲斐国立公園に属しています。区民・市民限定で行われる「青梅市文化財ハイキング」や、共同企画「森林ボランティア育成講座」を実施しています。



東京都武蔵野市

買い物客でにぎわう吉祥寺、そして閑静な住宅地と非常に恵まれた環境により、「住んでみたいまち」ランキングで毎回、上位に登場する都市です。隣接する自治体として災害時に相互に支援する協定を締結しています。

山梨県忍野村

富士山麓の標高約940メートルに位置する高原の盆地で、湧水で有名な忍野八海があります。忍野村から見る富士山は、最も美しいと言われており、毎年フォトコンテストの入賞作品を区役所区民ギャラリーで展示しています。

静岡県南伊豆町

伊豆半島の最南端に位置し、温泉に恵まれ、弓ヶ浜など海岸沿いの景観を堪能できる景勝地です。全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレス南伊豆」では多くの区民が生活しています。

東京都小笠原村

世界でも有数の透明度を誇る海には年間を通してイルカやクジラが来遊し、亜熱帯の山には固有の動植物が多数生息しています。区内の中学生が小笠原村を訪れ、豊かな自然を体験する交流事業を実施しています。

国際交流

- オーストラリア連邦 ニューサウスウェールズ州ウィロビー市
- 大韓民国ソウル特別市瑞草区
- 台湾台北市

未来へ
継ぐ
すぎなみ
物語



杉並区区制施行90周年記念誌

令和4年9月発行

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 TEL. 3312-2111(代表)
区ホームページ： <https://www.city.suginami.tokyo.jp/>

編集・発行：杉並区総務部広報課

登録印刷物番号 04-0006
